

ふれあい

2013.1.15

No.187

発行：ふれあい編集委員会 〒220-0011 横浜市西区高島2-6-32 善仁会グループ TEL:045(453)6772 ホームページアドレス <http://www.zenjinkai.or.jp/>

特集

「思いやり行動」と
私の気づき



心のかよう医療・福祉を患者さま、お客さまへ

善仁会グループ

年頭にあたって



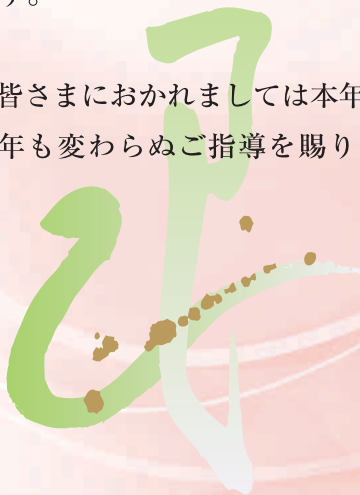
明けましておめでとうございます。

皆さまとともに新しい年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、政治や経済に関する様々な問題が指摘されるなか、明るい話題も多数紹介された1年でした。とりわけ印象的だったのは、京都大学 山中伸也教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したニュースです。iPS細胞の将来性は多くの方々にとって光明となっていることでしょう。そしてこの吉報とともに山中教授の研究に対する姿勢やこれまでのご尽力にふれ、私たちは「目的を達成するためには強い意志をもち、真摯に考え行動し続けなくてはならない」という想いを新たにいたしました。

私たちは「思いやりの心」を理念に掲げ、心のかよう医療の実現に努めております。全ての透析患者さまに穏やかにそして快適に透析を受けていただきたい、そのため日々の透析治療の質の向上はもとより、合併症管理の推進や外部医療機関との緊密な連携、ご通院や介護に関するサポートなど、患者さまを多面的に支えるため全力を尽くしてまいります。いまだ至らない点も多くございますが、全てのスタッフが患者さま満足の向上にむけて情熱を持ち、医療・福祉のプロフェッショナルとしていっそうの自己研鑽に励み、一丸となって皆さまの期待と信頼に応えてまいり所存です。

皆さまにおかれましては本年が平和な一年でありますよう祈念いたしますとともに、今年も変わらぬご指導を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



善仁会グループ

代表理事長 渡邊 光康



「思いやり行動」と私の気づき

透析患者さまに安心して快適な医療をご提供するため、私たちは「思いやりの心」を大切にしています。今回は各施設での取り組みや、スタッフが患者さま・お客さまとのふれあいのなかで学んだこと、そして今後にもつた想いをご紹介します。



思いやりの気持ち



新横浜第一クリニック
看護部
伊澤 祐美子

私の考える「思いやり」とは、「相手の立場にたって物事を考え、相手のことを思って行動すること」。また、「思いやり」とは、目に見えないもので、心で感じるものだと思っています。

日々たくさんの人と関わる中で、私は相手のことを「知る・理解する」ということを大切にしています。相手のことを知ることで、その人に合った関わりができ、相手のことを理解することで、その人の考えや思いが分かるような気がします。すべて理解することは難し

くても、相手の気持ちに寄り添って、「相手を知ろう・理解しよう」とすることが相手への思いやりの第一歩だと思います。そして、思いやりの気持ちが相手に伝われば、お互い気持ち良く、信頼関係にも繋がっていくと思います。

改めて「思いやり」という言葉の意味を考えると、とても奥が深く、難しい言葉です。これからの私の考える「思いやりの気持ち」を忘れずに、お客さまとの関わりを大切にしていきたいと思っています。



信頼される臨床工学技士になりたい!



八王子腎クリニック
臨床工学部
藤間 隆行

臨床工学技士として善仁会グループに入職して、早いもので3年が経過致しました。新人の頃は穿刺も思うようにいかず、患者さまにご迷惑をお掛けしてばかりでとても「思いやり行動」を実践することができなかつたと振り返り思います。

最近では業務にも慣れ、患者さまに対する「思いやり行動」について考える機会が増えました。患者さま目線で物事を考え、患者さまが必要としている行動をとりたくと日々念頭に

置き業務をしております。

私が「思いやり行動」を実践するにあたり重要視していることは笑顔で行うことです。きっかけは「あなたの笑顔に癒される」という患者さまの一言でした。今まで言われたことのない一言に感激し、決して忘れることのない一言になりました。同時に「笑顔」も「思いやり行動」の一つだと気付きました。

まだまだ未熟ですが、患者さまの立場に立った行動を実践し、信頼される技士を目指します。



「思いやりの推進」と私の気づき



新横浜第一クリニック
看護部 主任
金安 美喜

私がエキスパートナースとして任命されてから、一年が経とうとしています。

一年前、研修を終えたばかりのころは、自分が何をすれば良いのか、これで大丈夫なのか不安がたくさんあったことを覚えています。

そんな状況でも、自分が常に気を付けていたことは、“挨拶”と“笑顔”です。

当たり前じゃないかと思われる方もいらっしゃると思いますが、週3回、一年を通して同じ患者さまと接しているスタッフに

とっては、この当たり前が難しいように思います。

善仁会に入職してから、そしてエキスパートナースになってからも、患者さまから頂いた沢山の温かいお言葉やお声掛けを思い出し、今日まで頑張ることができたと思っています。この場をおかりして御礼を申し上げるとともに、これからも一人でも多くの患者さまに満足を感じてもらえるよう努力を続けていきたいと思っています。



思いやりと気づき



多摩向ヶ丘腎クリニック
事務部
大杉 美智子

善仁会グループの理念である思いやり行動はとても共感できるものです。

朝起きたら、まず鏡に向かって笑顔作りをしています。朝礼で理念を復唱し、心に刻み一日がスタートします。

私は毎朝、受付にいるので患者さまが来院される際に、笑顔で明るく挨拶するように心がけています。クリニックの中で最初に会うのは受付なので気持ち良く来院して頂くのも思いやりの心で接する事だと思っています。

透析終了後、送迎待ちの患者さまが多くいらっしゃいます。お食事される方、体調が良くない方など、一人一人に気づきをしながら声かけをしています。患者さまの声に耳を傾けていく努力を続けています。お帰りになるまで患者さまに思いやりを持って接していきたいと思っています。

私に出来る精一杯のことを今後も続けて、患者さまに心地良い環境作りをしていくため日々努めていきます。





「思いやり行動」 横浜第一病院の取り組みについて



横浜第一病院
臨床工学部 課長代行
高橋 賢治

横浜第一病院では昨年4月より「思いやり行動推進メンバー」が中心となり、他部署・他職種を交えて全スタッフがロールプレイングや院内研修会に参加して、「挨拶」「言葉遣い」「身だしなみ」などの注意点・改善目標を自ら発信し、業務姿勢の基本として病院全体で思いやり行動実践の推進に取り組んでまいりました。

私自身が、今日まで患者さまに安心と安全を提供する同じ目的と目標を持つ多くの臨床

工学技士、看護師、事務、医師、そして患者さまと出会い、接する中で思いやりを感じた瞬間を大切にしていまいりました。

多くの方々から気づき、学ばせて頂いた思いやりのエピソードをこれからも忘れずに、共に業務するスタッフと全ての患者さまへ思いやりを少しずつ、そしてそれを素直に出して行けるように、これからも毎日努めてまいりたいと思います。



思いやり行動の推進に向けて



溝の口第一クリニック
看護部 主任
高田 広美

現在、私は、善仁会グループの理念である「思いやり」をテーマに、グループ内の全スタッフの思いやり行動の推進に向け「透析室思いやり行動推進ツール製作プロジェクト」にて活動しております。

活動内容はグループ内のスタッフが出演する映像教材を作成し、今後それをもとにスタッフの思いやり行動の実践に繋げていきたいと考えています。

活動中、思いやりとはどういうことだろうと何度も考えました。その中で、人と人との関わる上で、思いやりの心は欠かせないものだと感じました。

どんな人でも思いやりの心があると思います。それをどう表現して伝えるか、また受

ける相手がどう感じるのか、様々なことを考え話し合い模索する毎日です。しかし、プロジェクトにおいてたくさんのスタッフの前向きで快い協力姿勢にいつも温かい気持ちを感じます。

こういう温かい気持ちが思いやりの心なのだと思います。プロジェクト以外でも日頃から患者さま・スタッフ等、私は関わる人々から笑顔、言葉、態度でたくさんの温かい気持ちを頂いております。

今後私自身が頂いた思いやりの心に関わる全ての人々に返していけるよう、また思いやり行動の実践を推進していくために活動していこうと思っています。



小さな「思いやり」から



吉祥寺あさひ病院

看護部 課長代行

北澤 直美

バスに乗車中の出来事でした。3～4歳くらいの子とその母親が乗車してきました。女の子は座席を見つけると「ママここに座って」と母親に席を進めました。この年頃の幼児がバスの運行中に立つのは危険です。母親は自分が座り娘を膝に乗せようとしていました。女の子はしばらく母親を座らせようとしていましたが結局小さなスペースに2人で収まったのでした。

世話好きな幼児のたわいもない行動ですが、私はこの子が「私はいいの」と言っている言葉に気が留まりました。「おもいやり」の気

持ちを行動に出すとき、思いを相手に「押す」ことは簡単ですが「引く」ことの表現は難しいものです。母親相手に少々「押し」気味ではあるもの「私は座らなくていいの」という気持ちに私はこの女の子の「引く」を感じたのでした。

人は教えられるだけではなく、いくつもの体験を通して思いやり行動を身に付けていくものです。自分の気持ちを引いて、相手の立場を考えることのできる環境づくりこそ大切だなと考えた小さなエピソードになりました。



「思いやり行動」の徹底



大和クリニック

事務部 ケアドライバー

田中 秀樹

「思いやり行動」をケアドライバーが徹底することで、速やかな対応が出来、より良いサービスの提供に寄与することが出来ると考えます。

ケアドライバーは、日々最初に患者さまと接するスタッフであり、またクリニック外での様子を知り得る唯一の職種であります。

ケアドライバーの仕事は、「安全・確実に、決められた運行をする」ことですが、「思いや

り行動」により、挨拶や乗車されるまでの様子に、普段と変わりが無いか注意するよう、心がけて勤務しています。

異常が感じられたら、対話によって確認し、実際に対応するスタッフに、タイミングを逃さず伝達することで、円滑な透析を受けて頂けるよう配慮し、継続的に通院手段を提供することが、重要であると考えています。





相手に伝える思いやり



湘南台じんクリニック
臨床工学部
高橋 亮美

入社してからずっと患者さまから信頼されるスタッフになりたいと思っていました。医療現場としてより安全な治療、技術面の向上など、今でも遠いゴールを目指して日々頑張っています。

最近、相手を思う気持ちを実際に行動に移していくことで相手に伝えたいと思うようになりました。困っているのかな？と思っただけで声をかけてみる、大丈夫かな？と思っただけでお手伝いさせていただく、思っただけで終わらないようにしています。

これを思いやりと呼ぶかは分かりませんが自分なりに患者さまのために行動することを心掛けています。自分のしたことで助かったと感じていただければ私も嬉しいですし、思いやりは患者さまのためではありますが、今の私の仕事へのモチベーションにもなっています。

最終的には患者さまにとって一番心地の良い距離感を保ち、優しく時には厳しい信頼されるスタッフを目指しこれからも頑張ります。



思いやりを込めた挨拶



東戸塚第一クリニック
事務長
石綿 宏幸

私は、さわやかで気持ちを込めた挨拶をいつも心がけています。

施設に着任して約半年経ち、私の事を知って下さる患者さまも少しずつですが増えてきたように感じております。患者さまに挨拶した際に、元気な笑顔の挨拶が返って来ることがあります。ほんの短い時間ですが、その時間は私の中でとても嬉しい瞬間となっています。

挨拶は、人と人とのコミュニケーションの第一歩であり、何気なく普段からしていることかもしれませんが、相手との信頼関係を構

築する上でとても重要であると思っています。

そして挨拶の上手な方は、コミュニケーションも上手で相手を思いやる心を持てる方だと考えています。そんなことが少しでも出来るように意識し行動をしています。

いつでも自分の身に比べて人の身について思い、自分がされたら嬉しいと思えることを率先して相手にしていくことが、思いやりに繋がっていきます。

これからも相手の立場や気持ちを理解しようとする心を忘れずにいたいと思います。

第34回 善仁会研究報告会

去る11月11日(日)、パシフィコ横浜 会議センターにて第34回善仁会研究報告会が開催されました。

特別講演に登壇された武蔵野赤十字病院 腎臓内科部長 安藤亮一先生によるご講演は、『CKD-MBD診療ガイドラインを踏まえた透析患者の治療戦略』と題し、CKD-MBD(慢性腎臓

病に伴う骨・ミネラル代謝異常)治療の必要性や治療ガイドラインの変遷を踏まえつつ、管理目標値や治療の実際について様々なデータと共にお話しいただきました。

スタッフによる一般演題では、合併症管理の推進やフットケア等の委員会・プロジェクトの取り組みを含めて昨年を超える30題の研究報告が行われ、患者さま満足の上に向けて活発な質疑応答も行われました。

特別
講演



武蔵野赤十字病院
腎臓内科部長
安藤 亮一先生



思いやりエキスパートナース第3期生認定

知識と技術そして患者さまに対する誠実な思いやり行動が身についている看護師を認定する「思いやりエキスパートナース」認定制度。この度、その3期生として5名の看護師が認定を受けました。今後も各クリニックにおいて患者さま満足の上に向けて努めるとともに、グループ全体の看護のレベルアップに取り組んでまいります。皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。



春の風 となり町から 一歩ずつ (上野)

横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター

バスキュラーアクセスに専門的かつ総合的に対応するセンターとして、最新の医療技術、設備のもと、迅速な診断、長期に安定したバスキュラーアクセスの作製、維持に取り組んでいます。



センター長 笹川 成



診療時間 午前9:00~15:30

休診日 日曜・年末年始

予約制 バスキュラーアクセス外来の診療は予約制となっております。ご来院前にお電話でお問い合わせください。(緊急を要する場合は別途ご相談ください。)

●横浜第一病院バスキュラーアクセス関連手術実績

シャント作製術(初回)	158
シャント作製術(再建)	421
人工血管移植術	87
動脈表在化術	43
PTA	2,817
その他(瘤切除、血栓除去等)	327
2011年度症例実績 3,853例	

専用電話 : 045-453-6709 FAX : 045-453-6701